



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



NEXT 特捜隊

あなたの疑問調べます



矢羽根標示の上を走る自転車。車との距離が近い＝18日正午ごろ、静岡市駿河区

自転車路面標示走行「怖い」

解答欄が足りない場合は裏面に記すこと。

「自転車の路面標示があるのに道が狭くて、何ども怖い目に遭っています」

読者の日常の困り事や疑問に基づいて取材、調査する本誌「NEXT 特捜隊」に、静岡市駿河区の女性（75）から悩みが寄せられた。県内で整備が進む自転車の通行帯。取材してみると、区分のルールが浸透していない現状が浮かび上がった。

女性は自転車の運転免許を持たず、自転車で古い車や重い物に出掛けている。昨年、いつも使う道に自転車通行帯が示され、矢羽根標示の路面標示が登場。「一段差が多い歩道を通り過ぎて」と安心して通っていたが、車1台が通るのやが、この道幅の場所にも標示が続く。女性は「後から車が来て、慌てて歩道に上る」として段差で3回転

女性には自転車の運転免許を持たず、自転車で古い車や重い物に出掛けている。昨年、いつも使う道に自転車通行帯が示され、矢羽根標示の路面標示が登場。「一段差が多い歩道を通り過ぎて」と安心して通っていたが、車1台が通るのやが、この道幅の場所にも標示が続く。女性は「後から車が来て、慌てて歩道に上る」として段差で3回転

帯、実は法定速度や交通量など国の基準に沿った3種類に区分され、ルールも異なる。車道や歩道と縁石ははっきり分離した「自転車道」と車道と区別される「自転車専用通行帯」は、路面が青いなどで目立つられることが多く、道交法で禁止されている。一方、矢羽根標示は車道上で自転車が行き止まりの場所を示すのみ。自転車も通行できる。逆走などを防ぐ効果はあるが、あくまで道交法で原則車道を走るべき自転車通行帯の安全走行のため、狭い道にも示される。

女性には自転車の運転免許を持たず、自転車で古い車や重い物に出掛けている。昨年、いつも使う道に自転車通行帯が示され、矢羽根標示の路面標示が登場。「一段差が多い歩道を通り過ぎて」と安心して通っていたが、車1台が通るのやが、この道幅の場所にも標示が続く。女性は「後から車が来て、慌てて歩道に上る」として段差で3回転

車も通行 マナー頼り ■ 高齢者 歩道利用可



が通れると思って安心して利用していた。だから、車が標示の上を走ったり、車と自転車と並走できないような狭い道に標示があつたりすることに困惑した。道路を利用する全員にルールを浸透させなければ、危険な状況を誘発しかねない。

▼モラル

静岡市内の矢羽根標示がある道路を、しばらく観察してみた。車が近くと標示を外れて避ける自転車が目立った。車を安全距離を追い越し、ヒヤリとする場面も。標示を無視し、広い歩道を並走する自転車もいた。

車側も危険は同じ。矢羽根標示の道をよく車で通るといふ駿河区の主婦（34）は「狭い道と避けることもできず、自転車に合わせる余裕がなくなり、ストレスを感じています。背景には、自転車専用の通行帯を設置するスペースを確保しづらい道路事情もある。そのため、道交法は13歳未満の子どもと70歳以上の高齢者、身体障害者は歩道を自転車で行けるよう定め、より安全に移動できるように配慮している。自転車用の通行帯の整備は浜松市や沼津市、富士市など各地で進む。どうすれば安全に利用できるのか。自転車も自動車もルールを守り、目配りと気配りをし、安全を最優先に行動してほしい」と県警交通企画課の担当者、やはり頼り面も。標示を利用する一人一人のマナー、モラルといふことが、（小泉直樹）

2020年 5月20日 朝刊

①自転車に関する道路交通法を調べ、自転車側と歩行者側の意識の違いを論ぜよ。

②自転車の通行帯「矢羽根」の表示方法について、普段自転車通学をしている立場から、色彩・カタチ・塗装など、現実味が乏しくとも高校生ならではのユニークな安全対策のアイデアを表出せよ。

③道路を利用する一人一人のマナー、モラルの向上を啓発する手段を考察せよ。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 實石克巳 (静岡高校 教諭)

(高校/国語)

<参考> ①=法学、心理学に関する問題、②=心理学、地域行政学に関する問題、③=心理学、法学、地域行政学に関する問題